

# 2022 年度災害時外国人支援サポーター養成講座 受講者募集要項

★新型コロナウイルス感染症の動向によっては、本イベントの実施方法を変更する場合がございます★



OIHF HP QR コード

## 1 目的

激甚災害が全国的に頻発していますが、沖縄も例外ではありません。もし県内で大規模な災害が発生した場合に、我々はどうか乗り切れるのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どういうことが起こるのか。一方、在住外国人や外国人観光客数は増加の一途を辿っており、地域防災力を高めることにより、万一の場合に外国人の方々がことばや文化の違いのみをもって避難所等で孤立することのない支援体制を確立することは喫緊の課題であります。

本講座は、参加者の「防災・減災」に対する意識を高め、島嶼県沖縄の地域防災力の向上を目指すとともに、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成することを目的に実施します。

## 2 対象者

「島嶼県沖縄の地域防災力の向上」や「災害時外国人支援」に興味がある方（語学力は不問）

- 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ります。
- 高校生等の学生も受講できますが、「災害時外国人支援サポーター」としての登録（IDの交付）は満18歳以上とします。

## 3 開講日時・場所・内容

実施日によって、実施場所が異なりますのでご注意ください。（COVID-19 感染拡大の動向によっては、実施場所を全て ZOOM に変更する場合があります）

- 第1回・第5回：沖縄産業支援センター 中ホール（那覇市小禄 1831 番地 1）
- 第2回～第4回：ZOOM

回	日時	内容
第1回	5月14日（土） 9:00～12:30	<b>【講義・演習】災害時外国人支援の課題-多文化共生社会の実現に向けて-</b> 県内に来県する外国人観光客や在住外国人が、大規模災害時に直面する問題や災害時の各フェイズの支援のポイントを確認する。また「ストック情報」や「フロー情報」に関する理解を深め、「災害時外国人支援サポーター」としてどのような役割を担うことができるのか、基礎を学ぶ。 <b>【導入】災害時の外国人のニーズと OIHF の役割</b> 本事業の趣旨や大規模災害時における財団の役割について概説する。また災害時に外国人からどのようなニーズがあるのか、その中でサポーターとしてできる支援について考える。
第2回	5月15日（日） 9:00～12:30	<b>【講義】災害時におけるこころのケア-DPAT 医療の現場からー（仮題）</b> 災害時はサポーターも被災者となる困難な状況の中で活動を行う可能性を伴う。そのような状況の中で、サポーター自身のこころのセルフケアを東日本大震災時に実際に DPAT 隊員として活動した琉球こころのクリニック院長 大鶴 卓氏の活動事例を通して考える。 <b>【報告】災害時多言語支援の展望と課題についてー熊本地震の事例からー</b> 熊本地震の事例を通して、外国人支援の拠点である「災害時多言語支援センター」の意義や、運営上の課題に触れ、「災害時外国人支援サポーター」としてどのような役割を担うことができるのか具体的に考察する。 <b>【演習】外国人被災者支援のための「オンライン避難者登録フォーム」活用セミナー</b> 外国人観光客の帰国や健康状態、在住外国人のことばの壁等、大規模災害時に困難な状況に直面する外国人を支援するため、また避難所を巡回する職員や災害時外国人支援サポーターの円滑な情報収集を図るべく、「多言語オンライン避難者登録フォーム」の活用方法を学ぶ。

第3回	5月21日(土) 9:00~12:30	<p><b>【講義】過去の災禍に学び禍転じて福と為す（仮題）</b> あいち・なごや強靱化共創センター長/中部防災推進ネットワーク会長 福和 伸夫氏を講師として招聘し、過去の災禍から得られた教訓や今後起こりうる巨大地震や感染症、強大化する風水害を乗り越えるためにはどうすればよいかを考えることで、島嶼県沖縄の地域防災力向上につなげる。</p> <p><b>【講義・演習】災害時外国人支援と多言語支援センター運営研究</b> 過去の他県の活動事例等に関するその当時の課題や問題点を洗い出し、沖縄で発災した際の外国人支援の在り方や、多言語支援センターの運営について、参加型による演習を通して具体的に考えることで有事に備える。</p>
第4回	5月22日(日) 9:00~12:30	<p><b>【講義・演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」</b> 東日本大震災や鬼怒川水害、熊本地震等でも注目された「やさしい日本語」とは何か、我々が普段使っている日本語のどういう点が外国人にとって難しいのか基礎的なことを学ぶ。また、実際に災害時に使われる表現を「やさしい日本語」にする演習も行う。</p>
第5回	5月28日(土) 9:00~12:30	<p><b>【演習】避難所運営ゲーム（HUG 図上訓練）</b> これまでの講義で学んできたことを応用し、他の参加者と協力しながら避難所に見立てた体育館から運動場に、被災者を敷地内に安全に配置したり、様々なイベントに対応するなどして机上で実際に避難所を運営する訓練「避難所運営ゲーム（HUG）」に取り組む。訓練後、それぞれのグループの結果を比較し、避難所運営に必要な知識や被災者への対応を振り返る。</p>

\*気象災害等により、「特別警報」や「暴風警報」等が発令された場合、講座は中止となります。

\*講師の都合により、講座の内容を変更する場合があります。

#### 4 「災害時外国人支援サポーター」の認定

全5回を受講された参加者は、OIHFの「災害時外国人支援サポーター」に認定し、修了証と登録証（I.D.カード）を交付します。（2021年度末現在 168名の方が修了登録しています）

#### 5 受講料/ 募集定員 無料/ 40名程度

#### 6 募集期間 2022年3月6日(日) ~ 4月17日(日)

- (1) 申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- (2) 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。 予めご了承下さい。
- (3) 申込みの際、受付を完了した旨送信される自動返信メールの受信をご確認下さい。万が一、届かない場合、必ず下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

#### 7 個人情報の使用に関する同意のお願い

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像（写真や動画など）を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

#### 8 お問い合わせ

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛（かつら）

住所：〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号

電話：098-942-9215 FAX: 098-942-9220 E-mail : kokusai@oihf.or.jp